



2学期の決意 ～始業式・代表生徒の言葉～

～ 1年 小島 暖大さん(一部抜粋) ～

学校生活にもようやく慣れてきた2学期、僕はこの2学期を「努力する2学期」にしたいと思います。僕が努力したいと思っていることは2つあります。1つ目は学習です。学習内容が難しくなる2学期、家庭学習をさらに充実させます。学習内容を理解するための工夫も必要になってくると思います。予習復習をしっかりと行い、より質の高い家庭学習に取り組んでいきたいです。

2つ目は、評議員やみらい議員としての活動です。1学期行った笑・ku・bo ミーティングでの話し合いやみらい議員としての活動は学級や学校、南陽市の現状を知るいい機会となり、未来のために今の自分たちに何ができるのか真剣に考えることができました。2学期は、考えたことを実現するため自分の仕事に責任をもって取り組み、学級や学校、南陽市をもっとよくできるように頑張っていきたいと思います。

1学年としては、学年目標『日進月歩』を意識して、学習や行事に取り組みます。1学期は、学習規律が守られていないことが課題としてあげられました。2学期は授業を充実させるために、1人1人が学習に向かう意識をしっかりと持ち、互いに声がけしあいながら協力し授業をつくっていききたいです。



～ 2年 色摩 樹史さん(一部抜粋) ～

2学期のスタートにあたり、2学年として頑張りたいことが3つあります。

1つ目は部活動です。3年生が引退し、夏休みはほとんどの部が、2年生が中心となって活動を進めています。進めていく中で、今まで3年生に頼って、甘えてきたことを実感しています。3年生がやってきたことを同じようにスムーズにはできないことが多いですが、後輩や仲間と切磋琢磨しながら、新人戦に向けて練習に取り組んでいきたいと思います。

2つ目は学習です。2年生になり、1年生の時よりも学習内容が難しくなり、授業が進むスピードも速くなったと感じています。2年生の2学期は中学校3年間のちょうど中間地点の学期です。しかもこの時期までの学習内容が、高校受験に多く出題されることを知りました。2学年全体で今までの学習内容を定着させ、さらに2学期の一つ一つの授業を大切にする雰囲気づくりに力を入れたいです。また、毎日の家庭学習で授業の復習や自学にも丁寧に取り組みたいです。

3つ目は行事です。2年生の最初の行事は「職場体験」です。9月4日(水)～6日(金)の3日間、南陽市と高島町の43の事業所に分かれて「働く」ことを体験してきます。様々な分野の事業所がありますが、各事業所さんのお忙しい時間を頂いて、体験させて頂いているのだという、気持ちを忘れないようにしたいです。将来自分たちがどんな職業についても、この3日間の体験はどこかで生きてくると思います。緊張も少しありますが、頑張りたいです。



～ 3年 佐藤 幸奈さん(一部抜粋) ～

私が二学期頑張りたいことは、2つあります。

1つ目は、学校行事です。学校行事は体育祭、赤中祭、修学旅行などたくさんの行事があります。体育祭では、副組頭として、組頭を支え、自分から声を出し、整列の指示を出して1・2年生を引っ張っていき、最優秀応援団結賞を勝ち取りたいです。赤中祭では、それぞれのクラス合唱があります。みんなが練習から真剣に取り組み、一人ひとりが声を出して最高の合唱を作り上げたいと思います。修学旅行では、全員が「行ってよかった」「赤中のみんなと最高の思い出が作れた」と実感できるようにするために、一人ひとりが約束を守り、相手への思いやりの気持ちを忘れずに行動していきたいです。ふるさと祭りの神輿も含めて、私は中学生としての最後の行事を全力で楽しみたいです。

2つ目は、受験です。私はこれまで勉強から逃げていました。でも、自分の希望を叶えるためには、いつまでも逃げてはいられません。そのために、まずは毎日の授業を大切にしていきます。具体的には先生の話や友達の発表を集中して聞くようにしていきたいです。次に得意教科を伸ばすために、家庭学習の時間を確保し毎日取り組んでいくことを大切にしていきたいです。



赤中が、今年度より2年間山形県NIE実践指定校に!!!

多様な新聞を読むことを通して、自分の周りの出来事や様々なテーマについて自分自身の考えを持つことができるようにしていきたいと考えています。その一環として、新聞記事に対する自分の考えをまとめ、自分の言葉で伝える機会を日々の学級活動で設定し、「笑・ku・boスピーチ」と称して実践することとします。発表者はもちろんのこと、学級の他の生徒も、発表者の意見を聞き多面的に物事を捉えるきっかけとするとともに、発表を基に改めて新聞記事に関心を持ち、再び手に取るように取り組んでいきます。

～「笑・ku・boスピーチ」の重点～

- (1) 自分の周りの出来事について、自分自身の考えを持つ。
- (2) 立場や目的、意図を考えながら話したり、聞いたりする。
- (3) 相手の意見を尊重し、自分に取り入れる。

★具体的な新聞活用方法

- (1) 原稿用紙を利用して、自分の番までに発表の準備をしてもらう。
- (2) 新聞を活用して、気になる記事について自分の考えを述べる。
選んだ記事は切り取って、メモ用紙の裏に張り付けておく。
- (3) 学級活動（朝の会・帰りの会）で「笑・ku・boスピーチ」を実施する。発表順は各学級で考え、一日一人ずつ全員がスピーチをできるようにする。
- (4) 発表者だけでなく聞く側も準備をし、発表の後に聞いた人からも意見や感想を発表する。
- (5) 発表が終わった生徒の原稿用紙は、クラスに配付するファイルに綴じて保管する。



生徒の様子や活躍について、ホームページでも紹介しております。

<http://www.akatyu.sakura.ne.jp/>

